

## トルコ サクランボの輸出は大幅増加が見込まれる

[FreshPlaza 2024年4月9日](#)

トルコの青果物輸出業者ジャンラルフルーツ社の会計部長であるシェフィク・ジャン氏は、天候はサクランボの栽培に適しており、出荷シーズンは通常よりやや早く始まるとして、次のように述べた。「サクランボの木に必要な約1,200時間の低温積算時間は、ほぼすべての地域で実現した。2月の時点で、天候はこの季節の標準を上回っている。特に、北半球で最も早いサクランボが栽培されているマニサ県とイズミル県では、当面すべてが順調のようである。これらの地域では、果樹の半分が開花期を終え、着果し始めている。これは、トルコ産のサクランボが予想よりも早く顧客に届けられることを示している。悪天候がなければ、5月の第1週に収穫を開始する予定である。」(以下「」は同氏の発言)

ジャン氏は、収穫量が大幅に増加し、出荷シーズン全体が例年よりも長くなると予想されると説明する。「果実の品質、予想よりも早い収穫の開始、それに特にヨーロッパの取引先からの需要を踏まえ、我が国と弊社のサクランボの輸出量は、昨年を何倍も上回ると見ている。昨年は、5月の最終週から8月の第1週にかけて輸出された。今年、サクランボが予想より早く収穫された場合、出荷期間は3か月近くになる可能性がある。」

物流面では、特に紅海で起こっていることを考慮すると、航空貨物の利用が望ましいだろうとジャン氏は言う。「紅海の状況は海上貨物に影響を与えているが、トルコの輸出業者は一般的に、商品の価値を踏まえて中東及びアジア諸国向けには航空貨物を好む。サクランボの場合は特にそうだ。なお、トルコ共和国農業省では、極東諸国、特に中国にサクランボを輸出するために、また課題となっている手続きを克服するために、調査が続けられている。少しでも早い進展を期待したい。」

「中部地方と、サクランボの栽培が最も盛んで晩生のサクランボが栽培されている各県の状況は、今のところ非常に良好なようだ。温暖化による問題もあるが、我が国の地政学的な構造上、サクランボの栽培は1つの県に集中しているのではなく、多くの異なる県に分散している。我が国では、海拔0mから1,800mまでの様々な地域で生産されている。この状況は、製品の供給の面で我々の強みになっている。」

執筆者: ニック・ピーターズ

## (関連記事)トルコ サクランボの収穫シーズンはすべて良い兆候

[FreshPlaza 2024年4月5日](#)

トルコの青果物輸出業者アスヤフレッシュ社の執行役員であるイサ・ヤナル氏は、トルコのサクランボシーズンの開始を前に、今のところすべての信号が青になっていると話す。(以下「」は同氏の発言)

「秋から冬にかけてのトルコの天候は通常範囲であった。3月末のトルコ内陸部の降雪は、一部のサクランボ生産者を不安にさせたが、概ねうまく対応できた。現在、すべての要素が、サクランボの収穫期が良好であることを示している。」

ヤナル氏は、核果類の生産量の増加は、サクランボの生産量の増加も意味するとの期待を持っているが、今の時点で確かなことは何もない。「この時点では、サクランボの収穫量について正確なデータを得るには早すぎる。他の核果類の増加要因がサクランボにも影響を与えることを願っている。弊社では、地域の諸国の気象と推定生産予測量を注意深く監視している。弊社は、この地域の状況の変化と予想をヨーロッパの大手サービスプロバイダー会社と直ちに共有している。」

トルコのサクランボ輸出業者の間では、コストを最小限に抑えるため、競争は脇において、協力が試みられている。「弊社はヨーロッパ、極東、さらにはアフリカにも多くの優良な取引先がある。もちろん、欧州市場は依然として最強の地位にあり、これは弊社にとってそれが重要な市場であることを意味する。弊社の目標は、既存市場で市場シェアを拡大し、ブランド価値を高めることである。弊社は、トルコのグループ内の出荷業者と互いに競争するのではなく、強い関係を築き始めた。弊社は、この関係を毎年拡大していきたいと考えている。その結果、トルコと同僚達との団結力によってコストが削減されたことがわかった。」

執筆者: ニック・ピーターズ